

事業所名

通所運動量アットスクール調布

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025 年

3 月

15 日

法人（事業所）理念		一生をみる（見る・看る）。「できた！」が子どもたちの自信につながるように、ひとりひとりのペースに合わせた成長のサポートをしています。			
支援方針		障がい特性に合わせた、日常生活に必要な身の回りの自立や集団生活を送るルールを学ぶサポートをする			
営業時間		平日 10 時 30 分から 17 時 30 分まで	土曜日・祝日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで	学校休校日 10 時 00 分から 17 時 00 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。また、健康状態の常なるチェックと必要な対応を行う。 その際、意思表示が困難である子どもの障害の特性及び発達過程・特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。 睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行い、病気の予防や安全への配慮を行う。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る。 保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援する。 感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行う。 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う。 環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う 			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 手話、点字、音声、文字、触覚、平易な表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。 			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 周囲に子どもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援する。 大人を介して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。 集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。 			
家族支援		ご家庭に関する困りごとの相談支援 子供の発達状況や身体状況理解に向けた相談支援	移行支援		学校、他の通所事業所などと連携をはかり、支援体制を作っていきます ライフステージに合わせお子様の発達評価・支援を行っていきます 移行先への連携を行っていきます
地域支援・地域連携		・地域でのイベントの参加	職員の質の向上		避難訓練・緊急時対応・虐待防止研修など実施します 担当者会議にて児童に対する支援向上を行います
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 年間テーマに沿って、毎月季節の活動を行っていきます。 卒業式、入学式、ハロウィン、クリスマス会、お誕生日会、節分など 			